

メーサイ病院の看護師が来日

タイ・メーサイ病院の看護師2人が2月3日に来日し、4日から約1カ月間にわたる視察を開始しました。

来日したのは、パトゥマーン・ウッタラさん（愛称エウ）とラトレー・ブラプラサートさん（愛称ティ）です。

4日は、オリエンテーリングで城西病院や達生堂グループの概要を聴いた後、グループ内の各施設を見学して回りました。

最初に見学した受付では、再来受付機に興味を示していました。「この機械があれば、人が対応する必要がなくなります。しかし、メーサイ病院では、タイ人のほかにミャンマーなど多国籍の人が受診し、言葉の問題で導入は難しいです」と話していました。

救急処置室や入院病棟などでは、救急カートに入っている機材や薬品などに興味を示し、さかんに質問してはメモを取り、写真を写していました。

病室は、広さに驚き、看護・介護はすべて看護師とヘルパーで行うシステムに聞き入っていました。

タイでは入院患者の介護は、必ず家族か親戚が来て行っているといいます。そして、入院患者は2、3週間入院した後、リハビリの方法などを家族や親戚に教えて、家に戻るのが普通で、日本の療養病棟や回復リハビリ、そして老人ホームなどの制度は普及していないという話でした。

2月3日は城西病院で技能実習を行う中国人の安琳さんと楊艶艶さんも来日しました。2人は小山市の学校で入国後研修を約1カ月受けた後、城西病院でヘルパー業務の技能実習を受けます。

2002年2月5日



エウさん
パトゥマーン・ウッタラさん

チェンライ出身。1999年3月にボロマラジョナニ看護大学を卒業。メーサイ病院で救急室や病棟に勤務。現在は外来で急性期患者や抗HIV医療、精神医療、一般医療、小児科、産科、入院など幅広い業務を担当。

日本では外来やそのほかの部門の業務を学びたいといい、日本の自然や芸術・文化、和食、東京マラソンなどに興味があるという。



ティさん
ラトレー・ブラプラサートさん

チェンライ出身。2000年3月にパヤプ大学（看護）を卒業、2008年にシリライ病院医学部で腎臓移植と透析の看護に関する資格を取得。メーサイ病院では、人工透析の専門看護師として活躍し、非感染症診療のリスク管理チームの主任も兼務。

日本の食や自然、芸術・文化、ライフスタイルなどに興味があるという。